

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-223-1622

年度	平成27年度		
施設名	新潟市美術館	所管部・課	文化スポーツ部新潟市美術館
施設の設置目的	美術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与します。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	H27.6.1
歳入	49,619	正職員	9	修正日	
歳出	275,308	非常勤	4	評価日	H28.5.17

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標					H27結果
1	市民	展覧会やイベントの充実、ショップ開設などで魅力を高め、利用者増を目指します。	入館者数(人)	83,060	86,275	36,309	60,000	46,299	・入館者:エントランスのカウンタ数 ・開館日数 H24 303日間 H25 301日間 H26 170日間(5か月休館) H27 196日間(3か日半休)	・企画展, コレクション展, 各種講座等の開催 ・ミュージアムショップ・カフェとの連携 ・リニューアルオープン(7/19)に向けた準備	7月19日にリニューアルオープンし、開館30周年事業などの各種事業を、カフェショップとも連携を図りながら予定通り実施したが、入館者数は当初の目標を下回った。各事業の実施に追われ余裕がなく、市民ニーズを捉えきれなかった結果と思われる。	C:未達成
2	市民	展覧会やイベントの充実、ショップ開設などで魅力を高め、来館者満足度の向上を目指します。	アンケート満足度(点)	3.8	3.9	4.0	4.2	4.2	・来館者アンケートの平均(5点満点)	・来館者アンケート	来館者アンケートの評価は目標を達成しました。	B:達成
3	市民業務	学校や地域等と連携し、子どもたちが美術に触れる機会を充実させるなど、市民に親しまれる美術館づくりを進めます。	学校連携事業や施設普及事業の実施回数(回)	95	84	60	60	77	H24 学校側の要望で倍増 H25 出前は新津美と連携実施 H26 新津美と分担実施 H27 事業統一 ※対象事業を修正	・アートリブ事業の実施, こどもスタンプカードの実施 ・コンサート, 各種美術講座, 実技講座の開催	学校・地域と連携を図りながら計画的に事業を実施するとともに、事業の追加実施などで充実を図りました。	B:達成
4	財務	新規来館者を増やしリピーターを獲得するための仕組みづくりや、運営の工夫で、有料観覧者を増やし、収益の向上を目指します。	企画展1日当たりの有料観覧者数(人)	183	189	96	190	109	・企画展本数(日数 有料者数) H24 7本(263日 48,150人) H25 5本(245日 46,502人) H26 3本(134日 12,895人) H27 3本(143日 15,550人)	・西大畑旭町文化施設協議会との連携 ・カフェ, ショップの充実 ・SNSの活用	前年度の数字は上回ったものの、年度当初の目標を下回った。市民ニーズとの合致不足とともに、広報が有効に機能しきれなかったためと思われる。	C:未達成
5	人材	職員に研修を行うとともに、館外研修に積極的に参加し、資質向上を図ります。	研修受講人数(延人)	43	50	56	56	49	職員や監視員等対象の研修受講者数	・接遇研修, 危機管理研修, コンプライアンス研修, ・財務・文書管理・IT研修, ・学芸職員の館外研修の参加	ほぼ計画通りに、機会を捉えて館外研修に参加し、職員の資質向上に努めたが、業務の都合で参加できないこともあった。	C:未達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
開館30周年にあたる今年度は、7月19日のリニューアルオープンに向けた準備を行うとともに、新潟市美術館の運営方針を実現するための取り組みをさらに進めます。	7月19日に予定通りリニューアルオープンし、開館30周年事業をはじめとして、運営方針に沿った各種事業を予定通り実施した。入館者数、観覧者数は目標を下回ったものの、入館者、観覧者の満足度は高く、普及事業の充実やカフェ・ショップ・地域との連携が進み、展覧会以外に入館者の割合が高まるなど、より市民に開かれた美術館への良い兆しも出てきている。今後は、さらに各種事業の充実を図るとともに、効果的な広報にも配慮し、市民ニーズの掘り起こしなどで、多くの市民から気軽に来館してもらえる美術館となるよう、さらに努力を続けていきたい。